学校番号	107

令和８年度　国語科

教科	国語科	科目	現代の国語	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「ちくま現代の国語」　（筑摩書房）						
副教材等	最新国語便覧　（浜島書店） 意味から習得－音訓別－重要頻出漢字リアルマスター３３００　（尚文出版） プログレス【読解・論点・探究】現代の国語　総演習　（いいずな書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

国語科では、社会に出てからも通用する「伝え合う力」の育成を目ざしています。国語科で学ぶことは、全ての教科の基礎学力につながるだけでなく、自分らしく生きていく源となる力を育みます。実り多い学習となるよう、「授業」を大切にし、「予習」・「復習」はバランス良く主体的に取り組みましょう。「予習」では、辞書を活用して新出語句の意味調べや本文の音読、「復習」では学んだことを整理し、重要事項についてさらに調べて、どんどんノートに付け加えましょう。そのために、ノートはできるだけ行間にゆとりを持ち、授業中は級友の意見や授業者の口頭による説明も必要に応じてメモをとり、積極的に参加してください。また、定期考査は計画を立てて臨み、提出物の期限は厳守しましょう。

2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目ざす。

【知識及び技能】

実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】

言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしており、言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前期	ことばは世界をつくる ［教材］ 「境目」 川上弘美	a：文章の構成を理解している。 b［　読　］：ことばのもつ「区分して認識する」という作用が有効である場合があると同時に、差別を生む可能性があるということに理解を深めている。 c：ことばの力を認識し、みずからことばを適切に使うことができるように心がけようとしている。	ワークシート 小テスト ノート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	問うこと、語ること ［教材］ 「サイエンスの視点、アートの視点」 齋藤亜矢	a：キーワード、具体例に着目し、本文の特徴を理解している。 b［　話／聞　］：「！」と「？」の実例を通じて、問いの立て方を話し合い共有している。 c：　紹介されている具体例を通じて、探究のイメージをつかんでいる。	ワークシート 小テスト ノート 定期考査	ワークシート グループ発表 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	ことばは世界をつくる ［教材］ 『羅生門』 芥川龍之介	a：脚注をきちんと読み、言葉を理解することで世界が広がることを実感している。 b［　書　］：登場人物の思考や心理の変化をたどり、書かれた言葉から作品世界を構築し、作品の主題を表現できる。 c：物語の展開を整理し、自分なりに『羅生門』の主題を考え、表現している。	ワークシート 小テスト ノート 定期考査	ワークシート グループ発表 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	前提を疑う ［教材］ 「失われた両腕」 清岡卓行	a：倒置や逆説による文の構成や言い換えの表現が実際には一つのことであることを理解している。 b［　書　］：「ミロのヴィーナス」が魅惑的であるためには「両腕を失っていなければならなかった」のはなぜかということを正確に読み取っている。 c：両腕がないことがなぜミロのヴィーナスを「魅惑的」にしているのかということについて考えている。	ワークシート 小テスト ノート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	主張を読み取る ［教材］ 「開かれた文化」 岡真理	a：文章の論理展開を追いながら、その論旨を正確に読み取る能力を身につけている。 b［　書　］：文化「文化の違い」は、相手を理解不能な異質な存在であると意味するものではないということを理解している。 c：異文化理解への興味や、他者理解に関心を持っている。	ワークシート 小テスト ノート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
後期	自分のことばで伝える ［教材］ 「誰かの靴を履いてみること」 ブレイディみかこ	a：　背景の説明が、情景描写・対話・ナレーション的な語りなど、様々な表現を巧みに織り込んでいることへ気づいている。 b［　読　］：「現場」での経験から見えるものを捉え、さらにそれを言語化することで「市民」への一歩を踏み出すことができることに気づいている。	ワークシート 小テスト ノート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート

	c: 言葉と体験、実感が結びついた瞬間について、自己の経験と重ねて考えることができる。			
自分のことばで伝える ［教材］ 「贈り物と商品の違い」 松村圭一郎	a:筆者による問題提起とその解答及びその根拠について考え、本文の主題と論旨を捉えている。 b[話／聞]:身近なお祝い事の習慣を取り上げ、そこにどのような演習が施されているか、具体例を挙げ共有している。 c:モノを介したコミュニケーションの仕組みと役割に関する筆者の考察から、私たちが感じている世界の枠組みについて考えようとしている。	ワークシート 小テスト ノート 定期考査	ワークシート グループ発表 定期考査	ワークシート 振り返りシート
書く実践「年賀状の書き方」 ［教材］ 「年賀状の書き方」	a:手紙の書き方、様式について学んでいる。 b[書]:用件を伝えるだけではなく、相手のことを思いながら文字をつづるという体験をし、他者とのつながりを営む力を育んでいる。 c:手紙を書き、差し出す体験をすることで、そのやり取りの楽しさ、素晴らしさを感じることができている。	ワークシート	ワークシート	ワークシート 振り返りシート
前提を疑う ［教材］ 「魔術化する科学技術」 若林幹夫	a:段落相互の関係を整理して、論の構造をおさえている。 b[書]:科学的な知の特徴を整理し、魔術や呪術と近代科学技術を対比しながら、科学技術の発展が社会にもたらした影響について理解している。 c:現代の「科学」的思考そのものが「魔術化」しているという筆者の主張を理解している。	ワークシート 小テスト ノート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
主張を論理的に伝える ［教材］ 「贅沢の条件」 山田登世子	a:「贅沢」という言葉に日頃持っているイメージと、文中で使われている意味との相違点をおさえている。 b[書]:本文のいう「贅沢」と生徒たちのイメージしていた「贅沢」を比較し、本文における「贅沢」がどのようなものであるかを考え、それを自分の言葉で表現している。 c:日常生活の中にある「手仕事的時間」が、筆者の主張する贅沢の条件であることを理解している。	ワークシート 小テスト ノート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
深層を探ることば ［教材］ 『夢十夜』 夏目漱石	a:作品に描かれた時代背景や、非日常的な世界を理解しながら読み味わう能力を習得している。 b[読]:待つ男の「願望」と「時間」について考えている。 c:夢という「時間軸の揺らぎ」と、「夢」の象徴的な意味を考えている。	ワークシート 小テスト ノート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート

4　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　２０　）時間

・書くこと　…　（　３０　）時間

・読むこと　…　（　１５　）時間